

桜島地域における義務教育学校基本構想（骨子）

令和4年4月
鹿児島市教育委員会

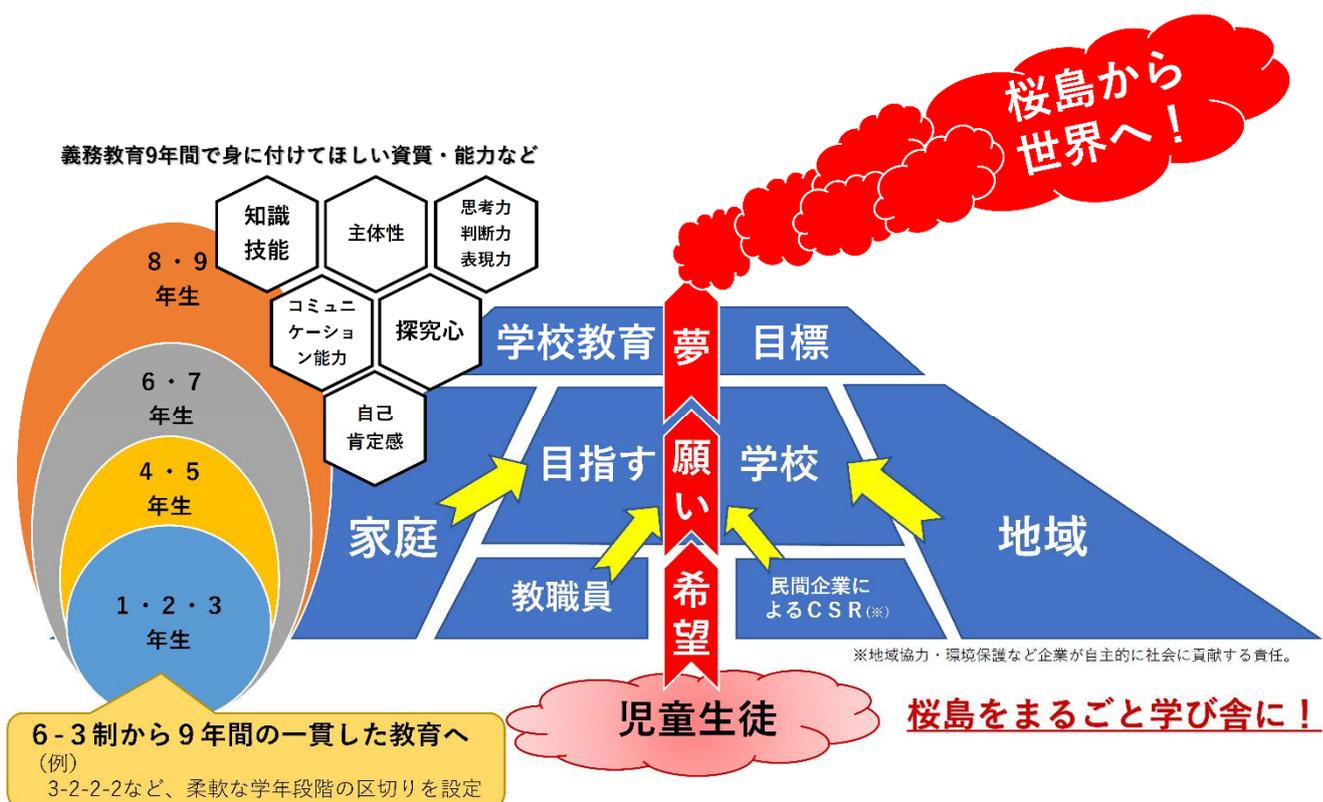
Ⅰ 新設校の理念や学校概要

具体的な校訓や教育課程などは、保護者や地域コミュニティ協議会の代表者に加え、教育分野などの学識経験者を交えた「桜島地域における義務教育学校整備検討委員会」において協議し、開校までに順次定めることとなりますが、大まかな理念や学校概要については、次のとおりとします。

(1) 鹿児島市の目指すべき教育の姿（第二次鹿児島市教育振興基本計画より）

- (か) 鹿児島市に誇りをもち、
 (こ) これからの時代に必要な生きる力を養い、
 (し) 心身ともにたくましく、
 (ま) 学び続ける人材を社会全体で育成します。

(2) 桜島地域における小中一貫教育を支える構想図（イメージ）



(3) 校区と通学手段

指定校区は、桜島地域全域とします。ただし、特認校制度^{*1}を活用することで、校区外からの児童生徒を受け入れることも可能とします。また、通学手段は、児童生徒の通学距離や状況等に応じて、徒歩、自転車又はスクールバスとします。

(4) 児童生徒数と学級数、教職員数

住民基本台帳を基に推計すると、開校を目指す令和8年度時点での見込まれる学級数と教職員数は次のようになります。

【学級数】

(単位：学級)

学年	小学校課程						中学校課程			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

- 特別支援学級は、開校時点の支援が必要な児童生徒数や障害の種別によるため、現時点では記載していません。

【教職員数】

(単位：人)

管理職	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	県費教職員合計
3	18	1	1	1	24

- 管理職3人の内訳は、校長1人と教頭2人です。
- 上記表の他、学校用務員、学校図書館司書、外国語指導助手（ALT）、スクールカウンセラー、給食調理員などの市費職員の配置が考えられます。
- その他、部活動の外部指導者や学校支援ボランティアの協力、学校運営協議会などによる保護者や地域住民の参画を得ながら、地域とともにある学校づくりを進めます。

^{*1} 豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かした学校での教育を希望する児童生徒に対し、保護者の責任において、おおむね1時間以内に登校可能である場合に、校区外からの入学（転学）を認めている制度。

(5) 教育課程の編成に当たっての基本的な考え方

教育課程^{※2}は、基本的な方針を保護者や地域の方々とも共有しながら、最終的には、学校が編成することになります。桜島地域ならではの特色ある教育を行うための大まかな案として、次のように整理します。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
	9年間の一貫した教育活動									
教育課程の区分 (例) 3-2-2-2制	小学校課程					中学校課程				
	教育課程特例校									
	基礎期Ⅰ			基礎期Ⅱ		充実期		発展期		
目標	○学習の仕方と規律を身に付け、学ぶ楽しさを味わう。 ○友達と仲良くするとともに、自分のよさを分かり、伸ばす。 ○家庭学習を含む基本的な生活習慣を身に付け、やるべきことを進んで行う。			○学習の仕方と規律を身に付け、学ぶ楽しさを味わう。 ○友達と仲良くするとともに、自分のよさを分かり、伸ばす。 ○家庭学習を含む基本的な生活習慣を身に付け、やるべきことを進んで行う。		○将来や進路を考える大切さに気付き、学びを深める。 ○仲間と励まし合い、自己の特長を知る。 ○自ら決めた目標に向け、失敗や困難に立ち向かい、最後まで取り組む。		○夢や希望の実現に向け、自主的・意欲的な学びを継続する。 ○互いに認め合い高め合い、自己の向上を図り、個性を伸ばそうとする。 ○より高い目標を設定し、強い意志をもち、粘り強く取り組む。		
桜島ならではの特色ある教育	指導方法	学級担任制		一部教科担任制		教科担任制				
	← 習熟度別指導 →									
	外国語教育の充実	英語教育を全学年で実施 ○ALT・小中一貫教育推進講師の配置					教科横断的な教育課程の編成			
	地域を愛する人材の育成	独自教科「(仮称)桜島みらい学」を全学年で実施 ○地場産物をテーマにした食農教育 ○火山や海洋に関する防災教育 ○国際理解、観光、キャリア形成をテーマにした学習								
	異学年交流	異学年交流活動の実施								
	異校種連携	鹿児島市立高等学校、〇〇市立〇〇学校、〇〇大学								
	校外交流	△△市立〇〇小学校、私立〇〇中学校								
	企業との連携(CSR)	株式会社〇〇、その他(再生可能エネルギーやICT関連企業など)								
	部活動等	〇〇クラブ、〇〇部								
地域との連携	コミュニティ・スクール(学校運営協議会の設置)									

※2 学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子どもの心身の発達に応じ、総合的に組織した学校の教育計画のことで、学習指導要領や地域の実情を踏まえ、学校が編成する。

II 学校施設の整備について

新設校の学校施設については、I 新設校の理念や学校概要と同様に、「桜島地域における義務教育学校整備検討委員会」において協議することになりますが、主に令和8年4月の開校を目指すことなどを踏まえ、設置場所の候補地や今後のスケジュールの大まかな目安については、次のとおりとします。

(1) 設置場所の候補地

新設校の設置場所は、南栄リース桜島グラウンド（桜島溶岩グラウンド）第一グラウンドとその隣接地を候補地として検討します。

所在地：鹿児島市桜島横山町1722-17

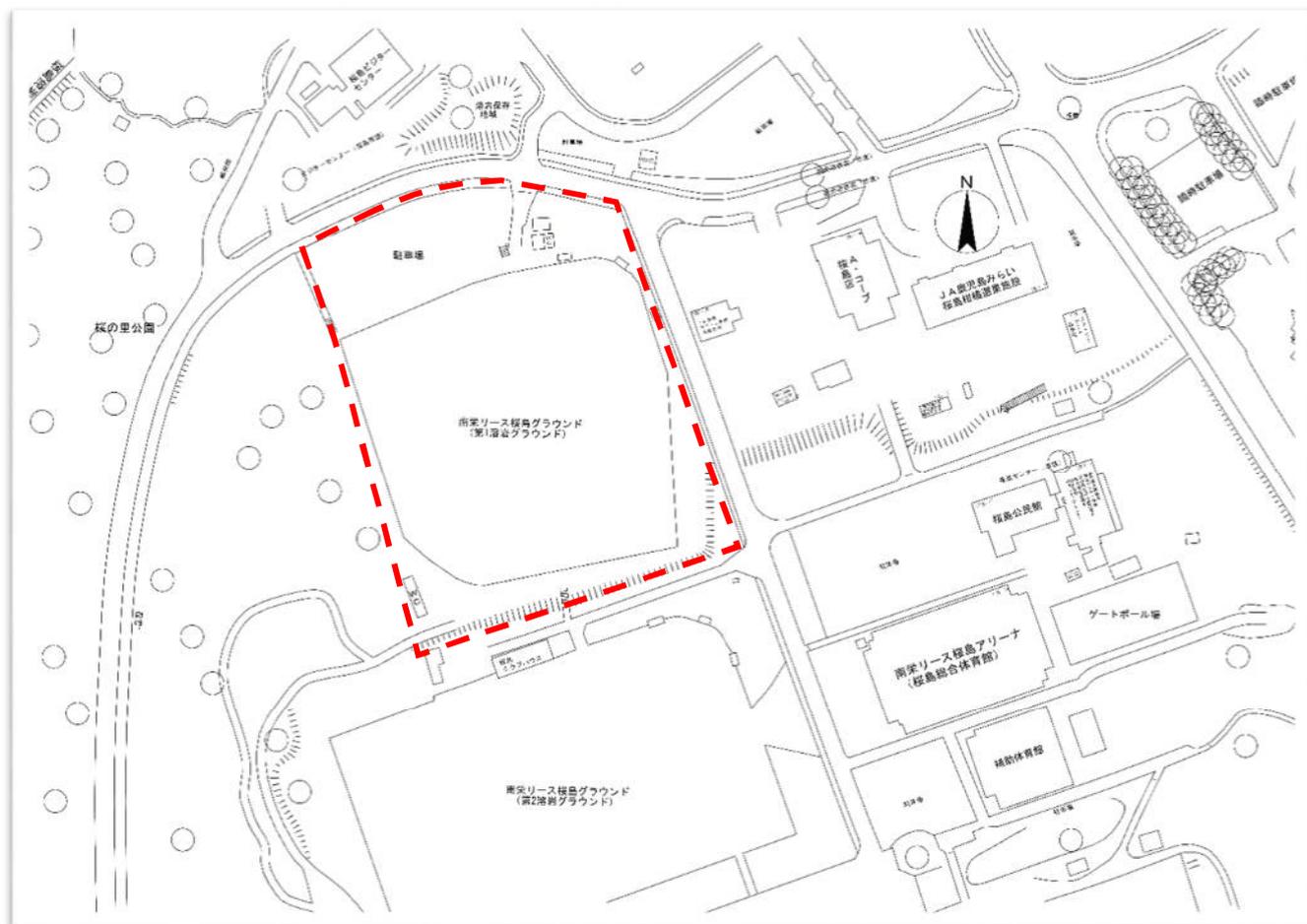
面積：約2万6,000㎡

所有者：鹿児島市

その他：自然公園法における第2種特別地域に該当

以下は、新校舎の設置場所が、候補地のとおりに決定すると仮定した場合の整備内容になります。

(参考) 設置場所の候補地付近の見取り図



(2) 新設校に整備する主な施設・設備等

以下に掲げる考え方を基に施設の整備を行います。

- ・よりよい教育環境の整備
- ・桜島ならではの特色ある教育
- ・地域住民との交流の場の創出

整備する主な施設・設備は、次のとおりとします。

○新たに整備するもの

- ① 教室等諸室（教室、特別教室、職員室、更衣室等）
- ② グラウンド施設（200mトラック、野球用バックネット、鉄棒等）
- ③ 多目的ホール（舞台付きで、集会、朝礼、体育の授業で使用可能）
- ④ プール（屋根付きまたは屋内型）
- ⑤ 武道場（柔剣道場）
- ⑥ バリアフリー施設（バリアフリースイレ・エレベーター等）
- ⑦ 児童クラブ用スペース
- ⑧ 植物や生物と触れ合える温室など
- ⑨ Wi-Fi等通信設備
- ⑩ 桜島火山学習センター（学校図書館と併設）
- ⑪ 郷土資料室（統合する学校の様々な伝統や文化等を保管・展示）
- ⑫ 地域活動室（PTA活動やコミュニティ・スクール活動）
- ⑬ 給食室（ランチルームを併設した自校式）

※各施設については、共用や地域住民の利用等を検討

○既存施設を活用するもの

- ⑭ 屋内運動場（高さを必要とする球技等を行う際には、桜島補助体育館を活用する。）

(3) 今後のスケジュール

- ① 公募型プロポーザルにより、校舎等の配置・形状・機能などについて、事業者から様々なアイデア（提案）を募集する予定です。
- ② 応募のあった提案者のアイデア（提案）について、教育委員会で設ける学識経験者を含む審査会で審査し、最も優れた提案者を新校舎の設計者に選定します。
- ③ 教育委員会と設計者が連携して設計の詳細を検討します。その際、子どもたちや保護者、地域の方々の意見を取り入れられるよう検討します。（ただし、校舎等の計画は、基本設計の段階で決まるため、おおむね令和4年11月までに方針を固める必要があります。）

(参考) 開校を目指す令和8年4月までの学校施設整備に関するスケジュール

令和4年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本構想			設計プロポーザル			基本設計					
令和5年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施設計										▲設計変更期限	
令和6年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札・契約						建設工事					
令和7年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建設工事									引越し等		
令和8年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開校	外構工事										